歌で綴るメンデルスゾーン vol.1

～ピアニスト　梅本　実氏をお迎えして～

多くの人が日記に文字を綴るように、メンデルスゾーンはその日の思いを歌で綴りました。
ピアノの音だけで書いた「ピアノ・リート」と、詩人の詞に音を付けた「リート」とを
各々６曲１組として発表しています。
まとめて演奏される機会の少ないこの作品たちをご堪能いただけるコンサートです。

Programm

<Piano　Lied>

無言歌集　第一集　作品19
　　第二集　作品30

<Lied>

歌曲集　作品19a
　　作品 34

ピアノソロ　**Pf.　梅本　実**

リートデュオ　**Sop.　河口 しほり**　　**Pf.　小泉 香織**

日時　2018/ 4/16 （月）　開場／18:30　開演／19:00

会場　ふきのとうホール

札幌市中央区北4条西6丁目3-3 六花亭札幌本店6階

＊駐車場はございません。
店内エレベーターで６階へお越しください。

入場料　3,000円

主催／歌で綴るメンデルスゾーン実行委員会　　後援／札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社

お問合せ・ご予約／090-8373-4004　　メール：mendelssohn_uta@yahoo.co.jp

ピアノ　梅本　実

幼少の頃よりピアノを始め、東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程器楽科ピアノ専攻修了。末永博子、勝谷壽子、伊達純の各氏に師事。
ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。さらに引き続きハンブルクにて研鑽を積む。R.F.クレッチマー、C.ハンゼンの各氏に師事。
帰国後東京、札幌、福岡各地でソロリサイタル開催。札幌交響楽団、九州交響楽団と共演。
またドイツ歌曲の共演ピアニストとして各地で幅広い活動を続けている。
文部省在外研修員としてドイツ・カールスルーエ音楽大学において白井光子・H.ヘルのドイツ・リート解釈法クラスで学ぶ。
1998年に「長島剛子・梅本実 リートデュオ」を結成し、声楽とピアノによる緊密なコラボレーションにより、19世紀末から20世紀のドイツ歌曲の演奏と紹介を軸に継続的な活動を続けている。
2001年にスタートした「世紀末から20世紀へ」のリサイタルシリーズは昨秋で15回を数え、その間知られざる作曲家を含めのべ37人の近現代作曲家の作品を取り上げた。作品内容の的確な把握に基づいて、響きを繊細にコントロールするピアニズムは長島とのリートデュオに遺憾なく発揮されている。
札幌市民芸術祭大賞（1999年、2002年）、第9回道銀芸術文化奨励賞（2000年）、第29回札幌文化奨励賞（2001年）、平成14年度文化庁芸術祭優秀賞（2003年）受賞。
北海道教育大学助教授等を経て、現在、国立音楽大学教授。

ソプラノ　河口　しほり

2004年教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業、06年同大学大学院修士課程修了。
声楽を長内勲、長島剛子の各氏に師事。
札幌市民芸術祭新人音楽会、キタラのサマーコンサート、札幌市役所ロビーコンサート等に出演する他、数度のジョイントリサイタル、2010年および2016年にソロリサイタルを開催。ドイツ歌曲や日本歌曲を中心に精力的に活動を行っている。
2015年4月にはドイツノルトライン＝ヴェストファーレン州ギュータースローの教会で演奏し、地元紙にて「glockenklarer, heller Stimme（鈴の音のように澄んだ明るい声）」と紹介された。
現在、中銀ヴェルデシティあいの里２号館、日本レーベンウィステリアN１７、自立支援集合住宅はびりすにてコーラスを指導する他、男声合唱団ススキーノ、北海道大麻高等学校合唱部の指導に携わっている。
北海道文教大学、北翔大学各非常勤講師。

ピアノ　小泉　香織

教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業。東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科ピアノ専修修了。
大学院修了後、2005年～2008年の夏季、キジアーナ音楽院（イタリア）で研鑽を積む。
2008年最優秀に選出され、奨学金及びディプロマ名誉賞を授与される。2009年ソロリサイタル開催。
日本アンサンブルコンクールドイツリート部門にて、優秀演奏者賞、小佐野英子賞受賞。
旭川市新人オーディションにて旭川市新人音楽賞を受賞。
これまでに三岸好太郎美術館ミニリサイタル、札幌市民芸術祭新人音楽会、ジョイントリサイタル（東京、札幌）他、多数の演奏会に出演。
現在、北海道フーゴー・ヴォルフ協会会員。ドイツの森メンバー。男声合唱団ススキーノピアニスト。
こいずみピアノ教室主宰　http://wakwakpiano.wixsite.com/wakwakpiano
棚瀬美鶴恵、大楽勝美、椎野伸一、M.カンパネッラの各氏に師事。